令和６年度　第２回青少年指導関係運営協議会　会議録

日　時　令和７年２月１２日（火）
午後２時４０分から午後３時４０分
場　所　木更津市役所朝日庁舎会議室Ｅ

出席委員　　中島委員（会長）、佐久間委員、丸委員、大滝委員、鈴木義信委員、
水島委員、鈴木清委員

１　開会
２　まなび支援センター所長挨拶
３　協議
①令和６年度まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について
②情報交換

〔事務局から説明〕

会に先立ちまして、皆様にご承知願いたいことがあります。

本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公表されておりますが、本日の傍聴人はありません。また、会議録は木更津市のホームページ上で公開されることとなります。会議中は録音機により会議を録音いたしますのでご承知ください。

それではただ今から、令和６年度第２回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員１４名のうち、７名の出席により会議が成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、協議に入ります前に、まなび支援センター難波所長よりご挨拶を申し上げます。

所長あいさつ

〈事務局〉

ありがとうございました。それでは、これより協議に入りたいと思います。

中島会長に座長をお任せいたします。よろしくお願いいたします。

〈中島会長〉

それでは、協議にはいります。

協議事項の①令和６年度木更津市まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について、事務局説明願います。

〈所長〉

令和６年度まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について説明

〈中島会長〉

事務局からの説明について、各委員よりご質問・ご意見等をそれぞれお願いしたいと思います。

〈鈴木義信委員〉

補導員の人数が、学区により大きく違っていますね。

〈まなび支援センター所長〉

２年に一度の委嘱で、前期より１０名少なくなっています。昨年度末地区から「なり手がいない」という連絡がきていました。高齢化していていい、若い人で引き受けてくれる人がいないという状況があります。

〈中島会長〉

この補導員さんは、例えば週に何回以上は出なければいけないとか、そういうきまりがありますか。

〈まなび支援センター所長〉

特にありません。地域によっては月にパトロールに行く回数を決めているところもありますが、事務局から指定はしていません。

〈水島委員〉

７０歳までの年齢制限がありますよね。下は何歳からですか。

〈まなび支援センター所長〉

２５歳からです。

〈水島委員〉

年齢制限が７０歳までですとできない人がでてしまいます。今は、６５歳で定年退職して補導員になると５年しかありません。やれる期間が短いので厳しいですね。若くてもできますが、現役で仕事をしている人は難しいですよね。年齢制限を変更することはできるのでしょうか。

〈まなび支援センター所長〉

確認しておきます。

〈鈴木清委員〉

以前は年齢制限が４０代であったと思う。それが、どんどん制限年齢が上がって、現在に至っていると思います。以前は、小学校の親が青少年相談員をやり、中学校の親が青少年補導員をやる、というような構成であったと思います。

〈中島会長〉

地域のために、という若い人がやってくれるといいですね。他にご意見いかがでしょうか。

〈まなび支援センター所長〉

補導員の活動に関して、パトロールでは近頃、外にいるこどもはいません。インターネットや SNS にいるようです。そういう意味では人目に付きにくい、インターネットでのかかわ

り方を考えなければならないと考えています。

電話相談では、こども本人からの相談はほとんどありません。非行関係の相談もほとんどなく、親が不安に思い電話相談にかけてきてくださっている傾向があります。

〈中島会長〉

はい、ありがとうございました。

それでは、他にご意見等無いようですので、次の協議にうつります。

協議事項の②情報交換です。委員の皆様は各団体の代表で出席いただいてますけれど、青少年の現状について、各委員のお立場ですとか、日々の活動の中で気になったことなどを順番にお話いただければと思います。

佐久間先生からお願いいたします。よろしくお願いします。

〈佐久間委員〉

中学校では、３年生が進路決定の時期で私立の子は決まり、公立がこれからというところです。進路が決まった子は、公立高校が第一志望の子のサポートをする意味で、卒業に向けた作業をしています。中学３年生全員が卒業に向けた準備をしている時期です。

先ほどの、まなび支援センター所長のお話にもあったように、目に見えて荒れていることはないが、スマートフォンで外と繋がっていることが多く、心配です。

各学校の一番の課題は、不登校で、特に大きな問題がなく、不登校理由が不明のパターンが多いように感じます。本人と学校が繋がっていくことが重要だと考えていて、本校では、放課後登校や、一人一台の端末を使ってオンラインでつながっていくこととしています。

若者の自殺が過去最高になったというニュースが出ていました。SOSが出せないケースがあるとのことで、学校では「SOSの出し方教室」をしています。

自転車のヘルメットがだいぶ定着してきました。私服でもヘルメットをかぶっている様子が見られます。

〈丸委員〉

４月から子ども家庭センターができ、母子保健と子育ての総合窓口となっています。１月末までの相談件数のうち、虐待相談が４５２件でした。昨年同時期は４３１件でしたので、少し増加しています。半分が未就学児で、近所の人からも相談が寄せられています。心理的虐待が一番多く全体の４５％です。言葉の虐待を含みます。

相談されれば対応できますが、相談できない人が潜在的にいるのではないかと思っています。

〈中島会長〉

相談のとりこぼしが無いようにしたいですね。それでも、市役所の方がハードルが下がって相談しやすいということがあると思います。相談件数の増加は、総合窓口として相談しやすい体制になったことによると思います。

つづいて民生委員児童委員の大滝さんお願いいたします。

〈大滝委員〉

　毎年、民生委員で福祉体験学習を実施しています。小学校５年生と中学校２年生を対象に、車いす体験や高齢者体験などをしました。学校で時間を設けていただき、お手伝いとしてボランティアとして参加しています。子供たちと個別の会話ができます。
　また、登下校時の見守り、立哨指導を学校の先生と一緒に時々行っています。
　ボッチャを広げるための活動もしています。高齢者が対象ですが、小学生や中学生も募集して、高齢者と関わりを持ってもらうことをやってもらっています。社会福祉協議会と一緒に行っている事業です。
　それから、子供の居場所づくりとして子ども食堂もやっています。そのようにして、地域のボランティアと子供たちかかわっていくようにしています。

〈中島会長〉
　ありがとうございます。より地域に密着してみているご報告をいただきました。
　つづいて、子ども会育成連絡協議会の鈴木清委員お願いします。

〈鈴木清委員〉
　木更津市の子ども会は約６００人が加入しています。児童は約８０００人なので加入率は５％くらいです。小学校区でいうと５地区だけです。田植え、キャンプ、稲刈り、カルタ、チャレランなど様々なイベントを企画しています。先月、木更津市民体育館でチャレランを開催しました。参加者が５０人程であり、ちょうどいい規模のイベントになりました。青少年補導員をはじめ、青少年相談員などボランティアで多数の人に手伝ってもらい、ボランティア同士での交流もできました。
子どもたちの育成にかかわる４団体で協力して、イベントの時期を少しずらしたりして、協力し合って活動することとしています。そこで、情報も共有できるとおもいます。そのような活動をしています。

〈中島会長〉
　協力しあい、情報共有していくのは、すごくいいですね。どうもありがとうございました。
　つづいて、青少年相談員の水島委員お願いします。

〈水島委員〉
　青少年補導員は中学校区から選出されていて、青少年相談員は小学校区から選出されています。街づくり協議会にもそれぞれ参加していて、危険個所パトロールを年２回、通学路で行っています。子供目線で見守っています。
　ある中学校の３年生に、公民館に飾るクリスマスのオーナメントとして、お願い事を書いてもらいました。「希望の高校に合格したい」というお願いが多い中、「洗濯や食事のしたくははしたくない」「２０歳までは生きていたい」など、気になるコメントがいくつかありました。SOSであると思いますが、無記名で書いてもらったものなので誰が書いたものなのかわかりません。中学校の先生にも見ていただきました。公民館に飾ると言って記入してもらったので、ツリーにも飾りました。
　近頃の若者で気になっているのが、闇バイトの事です。私にも２０歳を過ぎた子がいますが、アプリを使って隙間時間でのバイトを探していたりして、ものすごく心配です。個

人情報を伝えたら怖いんだ、とか、スマホの使い方も含めて小中学生のうちに子どもたちに知らせられたらいいなと思います。

〈中島会長〉
ありがとうございました。
つづいて、鈴木義信委員お願いします。

〈鈴木義信委員〉
木更津警察署少年警察ボランティアは、木更津駅管内なので袖ヶ浦市も含みます。２０名の委員のうち５名が袖ヶ浦です。
タッチヤングという活動がありまして、木更津警察署の生活安全課と少年が接点を持つ活動です。毎年、管内の中学校１校で開催しています。今年度は鎌足中学校でソフトバレーをしました。その手伝いにも参加しています。
木更津駅と袖ヶ浦駅周辺を月２回パトロール実施しています。午後７時から街頭指導を行っているが問題はないです。

〈中島委員〉
ありがとうございました。
最後に、私からも報告させていただきます。私は清和大学の所属です。私は短期大学なので、１８歳から２０歳くらいの学生に教えています。今年度は、各教員が学生に向けて、飲酒・クレジットカード・闇バイト・ホスト遊びなど、様々なことをレクチャーする取り組みを実施しました。成人年齢が１８歳なので、自分の名前で契約できてしまうのに仕組みが分かっていない。学生などの若い人の純粋さや無知につけこむような人が多いことを改めて実感しました。来年度も実施していこうと思います。

〈中島会長〉
それでは他にご意見等はありませんでしょうか。共有しておきたいことなど、よろしいでしょうか。
時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

〈事務局〉
ありがとうございました。
貴重なご意見等ありがとうございました。委員の皆様方のご意見等を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。
次回令和７年度第１回の運営協議会は令和７年６月１３日の金曜日を予定しております。第２回目は令和８年２月の予定ではありますが、まだ日にちが決まっておりませんので、また決まりましたらご案内差し上げることといたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。
それでは、これをもちまして、本日の会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。